

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名 地域高規格道路「小郡萩道路」 一般国道490号大田絵堂道路	事業区分	一般国道	事業主体 山口県
起終点 自：山口県美祢郡美東町大字大田 至：山口県美祢郡美東町大字絵堂	延長 7.0 km		
事業概要 一般国道490号は、山口県宇部市を起点とし、山口県萩市に至る延長約6.6kmの幹線道路である。大田絵堂道路は、県央部と萩市を結ぶ延長約3.0kmの地域高規格道路「小郡萩道路」を構成するとともに秋吉台公園へのアクセス道としても機能する道路である。			
H9年度事業化		H10年度用地着手	
都市計画決定なし		H10年度工事着手	
全体事業費		事業進捗率	
約21.8億円		65%	
計画交通量		供用済延長	
12,900台/日		km	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 4.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 96/263億円 〔事業費：65/233億円〕 〔維持管理費：30/30億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 435/435億円 〔走行時間短縮便益：355/355億円〕 〔走行費用減少便益：54/54億円〕 〔交通事故減少便益：26/26億円〕
基準年 平成18年			
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.0(交通量+10%) B/C=4.1(交通量-10%) 事業費変動：B/C=4.3(事業費+10%) B/C=4.9(事業費-10%)			
事業の効果等 ・高速ネットワークを補完し、高速ICへのアクセス性の向上(美東JCT) ・拠点都市間の連絡強化(山口市～萩市) 他4項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 沿線地域の交流機会を拡大し、産業及び広域観光ネットワークの形成を図り、人口定住や地域振興の推進に大きく寄与することが期待されることから、萩市を始めとする地元自治体などから整備促進の要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成11年に国幹審で小郡萩道路が中国縦貫自動車道連結の施工命令がされた。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収が99%完了し、主要構造物であるトンネル2箇所、橋梁5橋が完了している。引き続き、トンネル2箇所、橋梁1橋を含め、全線7.0kmの整備を進める。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き工事を推進し、平成22年度末供用開始を目指す。			
施設の構造や工法の変更等 特になし。			
対応方針			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案し、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。